

■ 卒業研究報告書 ■

糖尿病患者の家族の精神的健康度と 社会的経済的背景の関係



平成23年度長崎大学医学部保健学科
看護学専攻4年
伊東真梨 宮崎友香理

調査にご協力くださった皆様へ

先日は卒業研究のための調査票へのご回答

ありがとうございました。

12名の方からご回答いただきました。

調査の結果をご報告いたします。

結果①

- 回答者の平均年齢は 63.7歳 でした。

- 患者さんとの関係は、

患者さんが… 夫	4名	(33.3%)
妻	2名	(16.7%)
母	4名	(33.3%)
その他	2名	(16.7%)

でした。

結果②

- 相談など、心理的なサポートを受けている方は、
11 名 (91.7%)でした。
- 患者会など、情報を得られるようなサポートを受けている方は、
1 名 (8.3%)でした。
- かわりにお世話をしてくれる人がいるなど、患者さんのお世話上のサポートを受けている方は、
8 名 (66.7%)でした。

結果③

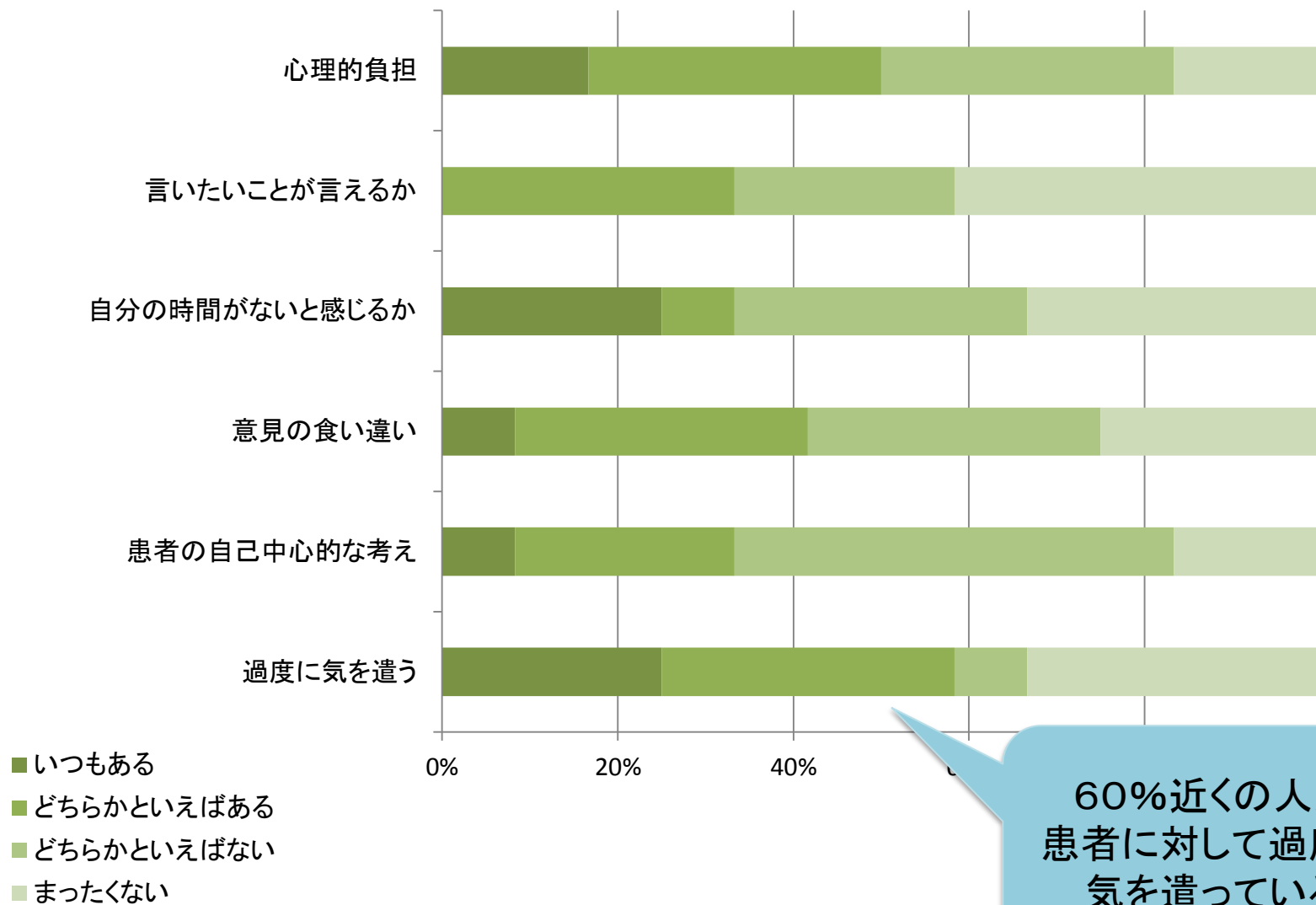
調査では、回答者の方に、糖尿病に関する知識をお尋ねしました。その結果は以下の通りです。

質問項目 (正解:1点、不正解・わからない:0点)	正解	正答率(%)
1. 糖尿病が進むと口の渇きや疲れやすさが出てくる。	○	100.0%
2. 食事療法は、糖尿病の治療の基本である。	○	100.0%
3. 過去1~2か月の血糖コントロール状態をみるために、HbA1cを測定する。	○	83.3%
4. 糖尿病がひどくなると、手足がしびれたり皮膚の感覚がマヒしたりする。	○	75.0%
5. 冷や汗をかくのは、低血糖の症状のひとつである。	○	75.0%
6. 空腹時の血糖の基準値は <u>200mg/dl</u> である。	× (110mg/dl)	58.3%
7. インスリンが減少すると血糖値は <u>下がる</u> 。	× (上がる。)	41.6%

結果④

- 今回のアンケートで、家族の悩みや不安などの精神的健康度を測定しました。
- その結果、
家族は患者さんに過度に気を遣うほど、
精神的健康度が低い(ストレスが大きい)
という結果が出ました。

患者のお世話に対するストレス



皆様のご意見より

「糖尿病患者本人はもちろんのこと、その家族も合併症がはっきり出ない場合、案外と深刻に感じていませんでしたが、今回のアンケートを読んで、本人も家族も病気のことを真剣に対処していくことが大切であると思いました。」

「これから一生付き合っていかなければなりませんので、心を安らかに病気と付き合っていこうと思っております。」

「(患者に対して)時に怒ったり、時に励ましたり、(介護のほかに)家事もしたり仕事もしたりで介護者の方のストレスが大きい。それが現実なんだよね。患者に対する支援だけじゃなくて、家族に対する支援も考えてほしい。」

等、たくさんの貴重なご意見・ご感想をいただきました。

おわりに

今回の研究で、患者さんの家族の精神面に対する支援の重要性に気付くことができました。

この結果をもとに、患者さんとそのご家族が安心して療養生活を送れるような支援の在り方を具体的に考えていきたいと思えます。

ご協力ありがとうございました。

